

骨の厚さや炎症が関与

【問い】以前に下の奥歯が痛み、治療してもらったときに、なかなか麻酔が効かずつらい思いをしました。酒が強いことと、麻酔が効きにくいのは何か関係がありますか？（長崎市、43歳男性）



【答え】歯科で治療部位だけに麻酔する局所麻酔と、アルコールとは全く関係がありません。ですから、たくさん飲酒するからといって麻酔が効かないということはありません。麻酔が効きにくかったのは、以下の原因が考えられます。

一つ目は麻酔の効果が弱められてしまった場合です。下顎の奥歯は特に周りの骨が厚く密度が高いので、麻酔の液が浸透しにくく、あまり効かないことがあります。この場合、麻酔の量を増やしたり、麻酔する場所を変えたりして十分麻酔を効かせてから治療します。

また、治療する歯の周囲の組織の水素イオン指数（pH）値が低くなり酸性に偏ると、効きにくくなります。歯や周

囲の組織に炎症があると、組織のpH値が低くなるので、痛みがあったり腫れたりしている部位は麻酔が効きにくくなります。そのような場合は、まず痛み止めや抗生剤を処方してから後日に治療をすることもあります。

二つ目は麻酔が効いているのに「痛い」と感じている場合です。自分は効かないと思い込んでいたり、治療に恐怖心があったりすると、不安で痛みに敏感になります。笑気ガスを使ったり麻酔の量を増やしたりすることもあります。が、前述の理由を患者さんが理解すると、問題なく処置できることもあります。

治療後に「痛みを我慢していました」と聞くと、申し訳ない気持ちになります。麻酔が効いてないのに我慢する人もいるようですが、痛みがあることがわからなければ、対処することができません。そのようなときは、歯科医師に相談することをお勧めします。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

麻酔が効きにくい

回答者

白石 一夫
はしらいし ひとむ

長崎市諏訪町
はじめ歯科クリニック院長

